

【子ども教育学科】

<<前期および後期>>

□アンケート集計結果【前期:実施教員 12名 回答数 473名】

【後期:実施教員 13名 回答数 669名】

■全項目(①~⑪)の平均値の年度ごとのデータ

(数字は、学科教員の平均値)

設問 番号	質問内容	2012年 度後期	2012年 度前期	2011 後期	2011 前期	2010 後期
学生の授業取り組みに関する質問						
①	私はこの授業によく出席した	4.61	4.62	4.58	4.71	4.54
②	私は授業内容について質問や発言をした	3.46	3.22	3.64	3.19	3.01
③	私はこの科目に積極的に取り組んだ (予習や復習をした)	3.84	3.69	3.77	3.56	3.28
教員の授業実施方法に関する質問						
④	教員の声は聞き取りやすかった	4.21	4.12	4.32	3.94	3.99
⑤	教員の板書(またはPPT・配布資料等) は読みやすかった(見やすかった)	4.16	3.85	3.96	3.67	3.69
⑥	教員は授業の開始・終了の時刻を守ろう としていた	4.42	4.40	4.42	4.29	4.05
⑦	教員は学生の反応を確かめながら授業を 進めていた	4.24	4.03	4.23	3.99	3.71
⑧	教員は熱意を持って授業をしていた	4.50	4.40	4.48	4.25	4.29
総合的評価						
⑨	私はこの授業内容を理解できた	4.16	3.97	4.04	3.78	3.60
⑩	私はこの授業で学んだ内容はなんらかの かたちで将来役に立つと感じた	4.48	4.38	4.37	4.19	4.11
⑪	私は総合的に判断してこの授業で満足が 得られた	4.29	4.21	4.15	3.99	3.73

■各項目の「特にそう思う」「多少そう思う」の占める割合（％）

設問 番号	質問内容	2012年 度後期	2012年 度前期
学生の授業取り組みに関する質問			
①	私はこの授業によく出席した	92	92
②	私は授業内容について質問や発言をした	48	38
③	私はこの科目に積極的に取り組んだ (予習や復習をした)	67	60
教員の授業実施方法に関する質問			
④	教員の声は聞き取りやすかった	77	76
⑤	教員の板書(またはPPT・配布資料等) は読みやすかった(見やすかった)	76	64
⑥	教員は授業の開始・終了の時刻を守ろう としていた	84	87
⑦	教員は学生の反応を確かめながら授業を 進めていた	78	71
⑧	教員は熱意を持って授業をしていた	89	86
総合的評価			
⑨	私はこの授業内容を理解できた	80	74
⑩	私はこの授業で学んだ内容はなんらかの かたちで将来役に立つと感じた	88	86
⑪	私は総合的に判断してこの授業で満足が 得られた	82	83

□アンケート結果の分析

[前期]

●年度比較から見えてくること

・今回のアンケートは、2011年度前期実施した学年・科目とほぼ同一と考えられる。よって2011年度前期と比較する時、①を除いて全項目で、平均値がアップしている。総じて、授業改善の成果と言えよう。

・2011年度後期との比較においては、今回は①、⑩、⑪以外は平均値がダウンしている。特に1年前期における、学生の「授業評価力」の問題とも関係している面もあるのではないかとと思われる。更に検討してみる必要があろう。

●各項目の「特にそう思う」「多少そう思う」の占める割合から見てくること

・学生の授業取り組みに関しては、「授業によく出席した」学生が 92%と極めて良好であるのに対して、授業への参加度は、「質問や発言」が 38%、「予習や復習」が 60%である。とくに学生が能動的に参加する授業のあり方を工夫していく必要がある。

・教員の授業実施方法に関しては、「授業の開始・終了時刻を守る」87%、「熱意を持って授業」86%、「教員の声は聞き取りやすかった」76%、「学生の反応を確かめながら授業」71%と、これらについては比較的良好な評価であったが、「板書(PPT・資料)は読みやすかった」64%は 6 割台であり、引き続き改善課題と言えよう。

・総合的評価では、「将来役立つ」が最も高く86%、「満足」が83%、「理解」74%となっており、総じて良好な結果であった。2011 年度後期の結果はそれぞれ 85%、79%、76%であった。「総合的に判断してこの授業で満足が得られた」が昨年度後期に比してアップしており、教員の熱意ある授業への取り組みや授業改善の努力の成果と言えよう。他方「役立つ」「満足」と「授業内容の理解」の間にあるギャップをどうみるのかについては、今後検討していきたいと思う。

[後期]

●年度及び前後期の比較から見てくること

2011 年度後期と比較する時、②④を除く項目すべてにおいて平均値がアップしている。また、2012 年度前期と比較すると、①以外の全項目で平均値のアップが見られた。総じて、授業改善の成果と言えよう。

●各項目の「特にそう思う」「多少そう思う」の占める割合から見てくること

・学生の授業取り組みに関しては、前期と比較して、「質問や発言」が 38%→48%、「予習や復習」が 60%→67%とアップしており、学生の授業への積極性・能動性が徐々に増してきている。大学における授業へ臨む姿勢が前期に比べ身についてきた結果ともいえよう。

・教員の授業実施方法に関しては、「授業の開始・終了時刻を守る」以外の項目、すなわち「熱意を持って授業」86%→89%、「学生の反応を確かめながら授業」71%→78%、「教員の声は聞き取りやすかった」76%→77%、「板書(PPT・資料)は読みやすかった」64%→76%、これらは全て前期に比べアップしている。とりわけ前期 6 割台であり改善課題であった「板書」が 7 割台に上昇しており、教員の意識的な改善姿勢があったことがうかがえる。

・総合的評価では、「将来役立つ」が最も高く88%、「満足」が82%、「理解」80%となっており、総じて良好な結果であった。特に「理解」が前期に比べ 6 ポイントアップして 8 割台となったことは、教員の「わかる授業」への努力の成果と言えよう。